



1月26日第5回慢性腎不全集学的ケア研究会が、金沢ニューグランドホテルにて開催されました。当院にも発表の依頼があり、準備期間も少なかったことから、昨年、透析スタッフで発表した「VA穿刺難易度評価表の作成」という研究発表を、エコーによるVA観察と実際の穿刺を具体的に示したものに再作成し発表しました。当初、15分のスライド原稿となり、発表時間7分にするために文章の削除、明確な表現にするため苦心しました。僕自身の滑舌が悪いので話しやすい言葉に換え、立て板に水というわけにはいかなかったのですがなんとか無事に発表を終えました。他の発表では、長谷川病院の「フットケアの実態調査」、特別講演は、金沢済生会病院看護部の細田夕子先生による「透析患者のフットケア」、東邦大学医療センター大橋病院の常喜信彦先生の「ある症例から考える透析患者の心筋症」の二題の講演がありました。

(臨床検査技師 山口 秀樹)



9割の参加者が来年度国家資格受験をする学生さんでした。大概が総合病院志向の中で、いかに当院へ誘致出来るか、興味を持って頂けるかが課題でしたが、私達の普段の看護業務を生かし「傾聴・共感・理解」した上で、今、希望されている進路を尊重し応援しました。是非とも当院に就職して頂きたい気持ちを抑え、十分経験を積まれた上で、将来的に選択肢の一つとして考えて頂けるように誠意と熱意を持って、あさなぎ病院をプレゼンしました。医療も看護学生も、待遇・福利厚生・勤務形態に加地・重点を置いているのが現状の流れで、そのニーズに合わせたポスターや展示ブースは各病院が工夫を凝らしたアピールをしており、貴重な人材を引き込む為の重要な場面を体感する事が出来ました。

(病棟看護師・主任 山本 優子)

《♪ホットケーキミックスを使った簡単蒸しパン♪》

- ☆好きな具材や茹で野菜を入れて栄養価アップ!
- ☆フライパンで焼いてパンケーキ風にも!!
- ☆軽食・おやつにどうぞ!(!)



【カップ2個分にあたり】
エネルギー：294kcal たんぱく質：8.8g 塩分：0.9g

材 料 (8号カップ8個分)	
※アルミカップは電子レンジで使えません。	
★ホットケーキミックス	200g
★卵	1個
★牛乳	130cc
★油	大さじ1
ウインナー	2本
チーズ	20g
ほうれん草 (茹でた物)	20g

<作り方>

- ① ウインナー・チーズ・ほうれん草を1cm大に切る。
- ② ★の材料を混ぜ、①を加える。
- ③ カップに分け入れ耐熱皿にのせ電子レンジ(600W)で4~5分間加熱する。
竹串を刺して生地が付いてこなければ完成です。
(生のようななら30秒ずつ追加加熱する)



A S A N A G I 瓦版

◇お知らせ◇

- ・4月1日より高岡市のガン検診が始まりました！
当院では、肺ガン・大腸ガン・胃ガンを受付けております。
※胃ガン検診(胃カメラの場合)は、完全予約制となります。
受診券持参の上、一度来院をお願いいたします。
- ・大型連休での当院休診日は下記の通りとなります。

【4/29(月)、5/1(水)、3日(金)、4日(土)、6日(月)】
※4月30日(火)と5月2日(木)は通常通りとなります!

令和に引き継がれる医療への対応について

医師 太田 正之

平成も後半になって高齢者の医療において介護利用が欠かせなくなっています。多くの人にとってケアマネージャーとの良い関係を築いていくことが大切で、従来のかかりつけ医を持つことと同様と考える。主治医意見書を気軽に請求していく必要がある。

令和の時代になって医師の世界でも解決されなければならない問題も多く、一つには時間外労働の問題で、医師の働き方にも改革の必要性が叫ばれ、健康への配慮(特に病院勤務医への配慮)や地域医療への影響も大きい救急医療医の過重な労働をしばらくは他の職種に時間外労働上限は高いままにおくものの将来に向けて改善していく方針となった。

当地では総合病院へは紹介状をもって受診するなどの対応が必要であろう。また多くの方には関係はないと思われるが、従来から医師は死体を前にして、法律(医師法21条)に従い、死体を検案し、ほとんどの例では死亡診断を行っているが、状況によっては所轄警察署に届け出ることが定められている。本年になって死体の外表面に異常がなくても、諸般の事情を考慮し、この届け出が必要との厚生省からの通知が発出され、対応が医師会で問題視され議論されている。従前どおりでよいとの意見が大勢ではあるが、死亡診断書の発行時にも配慮が欠かせなくなっている。

これらの問題に関心をもって、令和の時代も看護師さんなどの多くのスタッフとともに高齢者を主にした診療に真摯に向き合っていきたいものです。

(病棟看護師 中村 達彦)



金沢大学卒業後、富山赤十字病院、射水市民病院、高岡市民病院を経て今年4月より当院勤務となりました。岩井中陽一先生です。専門は腎臓内科です。趣味が多彩で今後本紙での御紹介が楽しみです。

(医師 岩井 中陽一)



はじめまして。私は平成30年10月より3階病棟で勤務している中村と言います。現在、病棟で安全に食事を食べるための援助を行う「嚥下チーム」の一員として働いております。

「嚥下」とは飲み込むことを医療用語で表現したものです。高齢になってきたり、病気になるたりすると普段と同じように食事をすることが難しくなってきます。特に飲み込む力はちょっとしたキッカケで低下していき、高齢者に多い誤嚥性肺炎の発症に繋がります。嚥下チームでは現在、入院患者さんを対象として飲み込む力の強化・維持を図るための訓練を行い肺炎発生の予防に努めています。まだ、始動したばかりのチームですが皆様のお役に立てる様頑張ります。病院のどこかで関わる事があれば、何卒よろしくお願い致します。



当院スタッフ4人も昨年秋ごろから出産続き!無事出産を終え、現在は育児休暇中であり、子育てに向き合っておられます!!



~新任紹介~

- (1月) 検査科 池田 美穂 (臨床検査技師)
- (2月) 医事課 中 友紀

